

- 1 日時 令和7年11月〇日（〇） 第〇校時
- 2 学年 第6学年〇組
- 3 単元名 「つなぐ・つづける・わたしたちの町」【町づくりで地域とつながる】
- 4 単元について

目標

地域の人のつながりをつくるためにイベントを開催したり、未来の町づくりに向けた思いを発信したりする活動を通して、町づくりは地域の人と人がつながり、努力と協力を重ねることで成り立っていることを理解し、人との関わりが持続可能な地域の在り方について考えるとともに、自分たちにできることを考え、地域の一員として実践することができるようにする。

目指す子供の姿

- 〇 町づくりは、地域の人と人がつながり、努力と協力を重ねることで成り立っていることを理解し、目的や相手に応じた方法で調査活動を行う中で、自分たちの行動が持続可能な町づくりに貢献することに気付いている。
- 〇 〇〇の人々の交流を持続可能なものにするために、必要な情報を収集し、根拠に基づいて整理・分析し、よりよい表現方法でまとめている。
- 〇 地域の一員として、これからも住みたい〇〇であり続けるために〇〇の町との関わり方や自分たちにできることを考え、実践しようとしている。

現在の子供の姿

本学級の児童は、第3・4学年で、「地域」や「防災」をテーマに、地域の伝統や環境に目を向けて自分たちで調べたり地域の方から話を聞いたりしてきた。第5学年では、米作りを行うことを通して、経済の基礎を学ぶだけでなく、米や金銭を大切にしようとする気持ちをもつことができた。活動の中で地域の方や、見守りの方とふれあうことで、地域のつながりを意識することもできた。しかし、地域とのつながりの大切さに気付いている児童は多いものの、それを住みやすい町づくりにつなげていこうとする意識は、これから高めていく必要がある。また、「10年後の〇〇はどんなまちであってほしいか。」という質問に対して、「お店が増えて栄えてほしい。」「坂道がなくなるとよい。」など、立地や環境など目に見えるものにはしか意識が向いていない児童がいる。

課題の解決にあたっては、十分に思考を深める前に結論を導き出そうとするため、自分の考えや思いを適切な言葉で文章に表すことが難しい。そのため、話し合いの活動における内容や表現の質を高めることが課題となっている。

単元の価値

〇〇の町には、一年を通して町民運動会、夏祭り、敬老会、スポーツフェスティバル、とんど祭りなど多くの行事がある。これらは地域の人々の交流の機会であり、子供たちにとっても楽しみにしている行事である。これらの行事は、地域の伝統や人とのつながりを育む大切な文化であり、〇〇に住む人々の思いや願いが込められている。

本単元では、これまで育んできた地域への愛着をもとに、地域に貢献している人の思いや願いに触れ、地域の一員として、〇〇の町がこれからも住みよい、豊かな町として存続していくためにできることは何かを考えて地域の課題や取組に参画していく態度を育成していくことができる。活動を通して、自分も地域の一員であり、自分たちも地域を支えていくという自覚や自信につなげることができる。

また、表現の場を校内だけでなく地域にも広げていくことで、自分たちの学びが地域に生かされる喜びや、自分たちの存在が地域を支えているという自信につなげていくことが期待される。

働きかけ・環境設定

〇〇のために活動している人々の思いや願いを知ったり、その人々の努力と協力によって人と人が結ばれていることに気付いたりするために、地域の人との思いや願いを調査したり、自分たちの思いを伝える場を設けたりするなど、適宜地域の人との交流の場を取り入れていく。その中で、情報を収集したり、課題を見付けたりして、自分たちにできることを考えられるようにする。

特に実社会とつながる学びとなるように、実際に祭りに参加して人と関わる体験や、自分たちでイベントを企画・運営する体験を通して、人と人がつながる意味を実感できるようにする。これにより、課題に対する意識をより明確にしなが、学習を展開することができる。こうした学習の過程で、他者と協働して学ぶ力（チーム力）や、学びを振り返りながら考えを深める力（自分力）を発揮できるようにする。

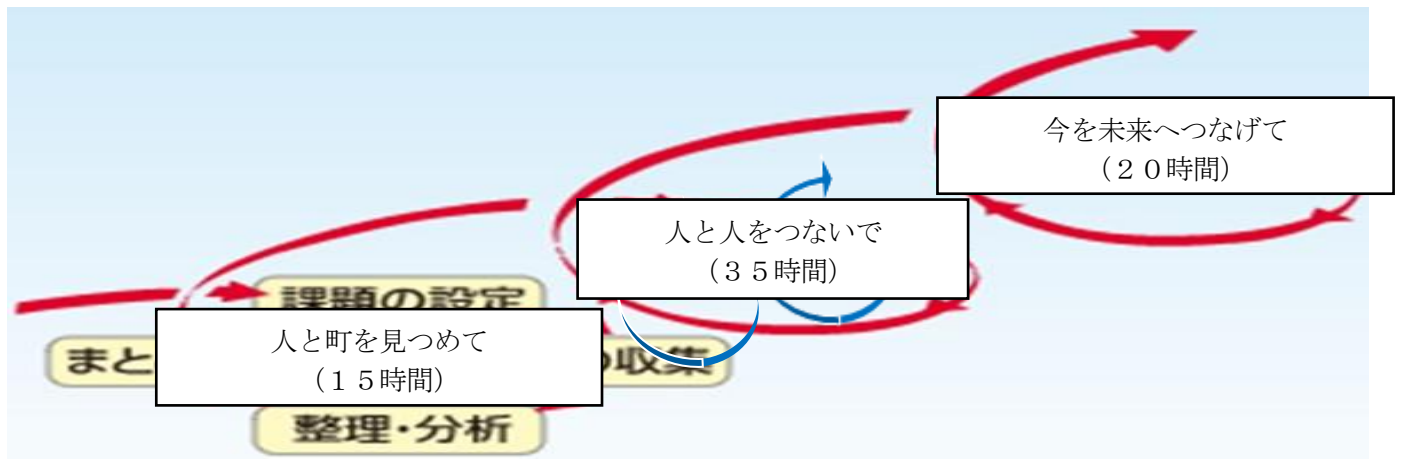
また、ICTを効果的に活用して、集めた情報や意見の交流を整理しながら思考を深めることができるようにする。成果物を広く発信したり活動の成果を振り返ったりするためにも、有効な手段として活用していく。

つながる学び

「〇〇について語ろう会」では、国語科「聞いて、考えを深めよう」で学習したことを生かし、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、まとめることができるようにする。また、相手の反応に合わせて、柔軟に質問を変えていくなど、相手の思いや考えを引き出すことを意識できるようにする。グループで話し合う際には、国語科「みんなで楽しく過ごすために」で学習したことを生かし、目的や条件に照らして話し合い、問題点を明らかにしながら協働的に解決策を出すような話し合いができるようにする。

6 指導と評価の計画（全70時間）

探究の過程の構想





	小単元1 人と町を見つめて	小単元2 人と人をつないで	小単元3 今を未来へつなげて
課題の設定	SDGsの持続可能な社会の視点から、10年後の〇〇の町の姿を想像し、地域の課題を考える。(思①) (2 h)	地域とのつながりが薄いという課題から、つながりを生み出すために目的や活動のイメージを確認する。(思①) (2 h)	持続可能な町づくりのためには「つながりを実感する」が大切であることを振り返り、どうすればもっとつながりを実感できるイベントにできるかを課題として設定する。(主②) (2 / 2 h)
情報の収集	「つながるイベント」を終え、これからの地域との関わりについて改めて考え、さらに地域のためにできることを考える。(思①) (2 h)	「つながるイベント」を終え、これからの地域との関わりについて改めて考え、さらに地域のためにできることを考える。(思①) (2 h)	「つながるイベント」を終え、これからの地域との関わりについて改めて考え、さらに地域のためにできることを考える。(思①) (2 h)
情報の収集	〇〇の町が抱えている課題について、家族にインタビューしたり、地域の方を招いて「〇〇について語ろう会」を開いたりして情報を集める。(知②) (3 h)	「つながるイベント」を開催するにあたり、地域の人々の声や、地域行事に対する思いなどの必要な情報を収集する。(思②) (3 h)	来場者の同士のつながりを深める工夫を考えるために、他の事例を調べたり、アンケートやインタビューなどで情報を集めたりする。(思②) (3 h)
整理・分析	インタビューや語り合う会で集めた情報を整理して、〇〇の町が抱える課題をまとめる。(主①) (3 h)	「つながるイベント」(プレ)の開催に向けて、出店の内容や目的をより明確にする。(主②) (7 h)	課題を解決できるイベントを行うために集めた情報からよりよい解決方法を見付け、準備を進める。(思③) (8 h)
まとめ・表現	自分たちができることを実現するために、必要な情報を整理し、どうすればうまく伝わるかを考えながら準備を進める。(思③) (10 h)	自分たちができることを実現するために、必要な情報を整理し、どうすればうまく伝わるかを考えながら準備を進める。(思③) (10 h)	自分たちができることを実現するために、必要な情報を整理し、どうすればうまく伝わるかを考えながら準備を進める。(思③) (10 h)
まとめ・表現	地域の人々同士のつながりを深めて〇〇を10年後も住みやすいまちにするために、自分たちができることを考え、スライドにまとめたことを「〇〇を語り合う会」で発表する。(思④) (7 h)	人のつながりをつくるために「つながるイベント」(プレ)を開催する。(知①) (4 h)	「つながるイベント」を開催し、つながりの大切さや、自分たちが地域の一員としてできることを多くの人に伝える。(思④) (6 h)
まとめ・表現	グループごとに、地域とのつながりの大切さと、これからの〇〇の未来に向けた自分たちの考えを発信する。(知③、主③) (5 h)	グループごとに、地域とのつながりの大切さと、これからの〇〇の未来に向けた自分たちの考えを発信する。(知③、主③) (5 h)	グループごとに、地域とのつながりの大切さと、これからの〇〇の未来に向けた自分たちの考えを発信する。(知③、主③) (5 h)

7 本時の目標

プレイベントの活動を振り返ることを通して、地域の人と人をつなぐ担い手として参加者がもっとつながりを実感できるものにする必要があるという課題を見出すとともに、課題解決への意欲を高めることができる。

【主体的に学習に取り組む態度 ②】

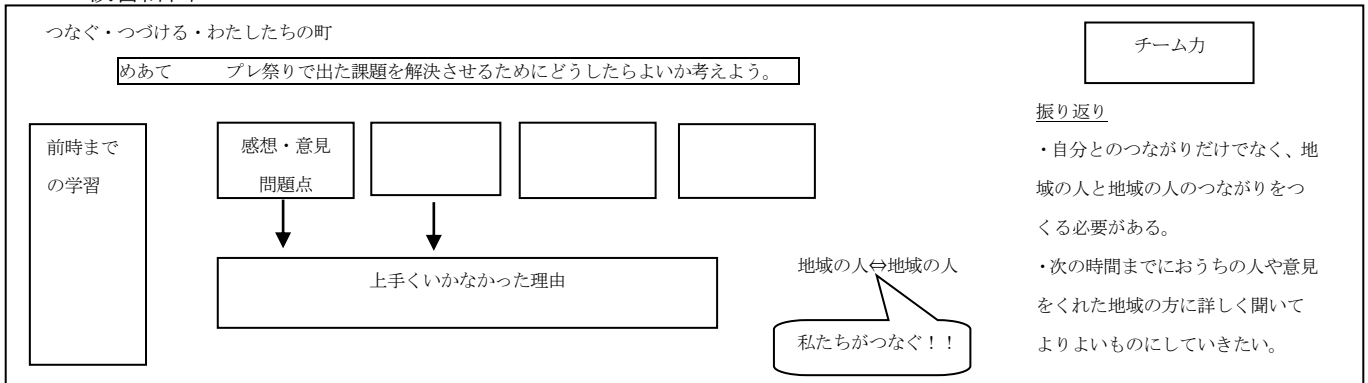
8 本時の学習展開

学習活動	働きかけ（目指す子供の姿のために）				
<p>1 これまでの活動を振り返り、本時の問いをもつ。</p>	<p>○ 児童が本時の課題を主体的に見出すことができるように、プレイベントの様子や、前時にプレイベント後に出た意見を整理したことを確認する。</p>				
<p>プレイベントで出た意見から、本番に向けてどうしたらよいか考えよう。</p>					
<p>2 プレイベント後の6年生の感想や、プレイベントに参加した人のアンケート結果を確認する。</p>  <p>出た意見から、何が足りなかったか、何が原因でそうなったかを考えましょう。</p> <p>つながりメーターはどうなったかな。</p>	<p>○ 問題点の共通認識をもつために、出た意見や問題点となっていることを提示しておく。</p> <p>○ イベントの意義や目的を再確認できるようにするために、本番に来てほしい人（お年寄りの方や小さい子どもも〇〇に住んでいる人）や、このイベントの目的（人と人のつながりをつくったり、深めたりする）を掲示しておく。</p>				
<p>3 イベントをよりよいものにするために、グループでうまくいかなかった理由を考える。</p> <p>○チーム力</p> <table border="1" data-bbox="129 1173 775 1339"> <tr> <td>A</td> <td>相手や目的に沿って話し合いを進め、考えをまとめることができる。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>友達の考えを聞き、解決すべき課題を考えることができる。</td> </tr> </table>	A	相手や目的に沿って話し合いを進め、考えをまとめることができる。	B	友達の考えを聞き、解決すべき課題を考えることができる。	<p>○ イベントを行う上で大切なことは人と人をつなぐ役割を果たすことだと気付くことができるようにするために、【つながり】に着目するよう促す。</p> <p>○ プレイベントで実際に見た来場者の反応や様子、アンケート結果をもとに原因を分析し課題を見出すことができるようにするために、企画や担当のグループごとで話し合うように促す。</p>
A	相手や目的に沿って話し合いを進め、考えをまとめることができる。				
B	友達の考えを聞き、解決すべき課題を考えることができる。				
 <p>「楽しかった。」という意見をもらえたけれど、本当にこのままでよいのかな。来た人だけのグループでは新しいつながりはないね。</p> <p>私たちの役割は地域の人と人をつなぐこと、つながりを深めることだ。ルールを見直すというよりも、もっと関わりが増えるような工夫が必要なのではないかな。</p>					
<p>4 考えたことを全体で共有する。</p> <p>プレイベントではつながりをつくること、深めることに意識が向いていなかったので、つながりを意識する必要がある。</p> <p>自分たちと地域の方が仲良くなれてよかったとおもったけれど、地域の人と地域の人とのつながりをつくる・深めることも大切だ。</p>	<table border="1" data-bbox="831 1809 1465 1984"> <tr> <td style="text-align: center;"> <p>本時の見どころ【チーム力】</p> <p>★友達と考えを交流するよさを感じられるようにするために、考えをつなげたり、反応したりしながら話し合いを進めるように促す。</p> </td> </tr> </table>	<p>本時の見どころ【チーム力】</p> <p>★友達と考えを交流するよさを感じられるようにするために、考えをつなげたり、反応したりしながら話し合いを進めるように促す。</p>			
<p>本時の見どころ【チーム力】</p> <p>★友達と考えを交流するよさを感じられるようにするために、考えをつなげたり、反応したりしながら話し合いを進めるように促す。</p>					

5 本時の振り返りをする。

今日はプレイベントで出た意見や問題点を解決させるために何が足りなかったかを考えました。私のグループでは〇〇という企画をします。プレイベントで出た意見は、「楽しかった。6年生とたくさん関わることができて、お話もできて楽しい時間になりました。1年生や他の地域の方も楽しそうでした。しかし、1年生の何人かにとってはルールが難しいように感じました。」ということでした。本番では1年生よりも小さい子も参加すること、そしてお年寄りの方も年齢関係なく楽しんでもらうためにはルールを変えたらよいのかなと思いました。でも、グループで話し合っていて、本当の問題は活動中の関わりが少ないことだと分かりました。このイベントは地域の人と人をつなげることが目的なので、一緒に活動するメンバーを工夫していろんな人とたくさん関わることができるようにすることや、会話を楽しんだりふれ合ったりできるようなものにしていきたいです。そうすると小さい子にとって難しいと思うルールでも教えてもらって上手にできると思います。家でどんな会話だったら盛り上がるかおうちの人にインタビューしてみようと思います。

8-1 板書計画



9 本時の評価規準と目指す子供の姿

本時の評価規準	目指す子供の姿
<p>【主体的に取り組む態度②】</p> <p>プレイベントの活動を振り返ることを通して、地域の人と人をつなぐ担い手として参加者がもっとつながりを実感できるものにする必要があるという課題を見出すとともに、課題解決への意欲を高めようとしている。</p> <p>(発言・タブレット)</p>	<p>○ プレイベントで出た意見や問題点から、イベントでは地域の人と人をつなぐ担い手としてつながりを深めるための活動をする必要があるという課題を見出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちと地域の人をつながりだけでなく、地域の人同士のつながりをつくったり深めたり必要があることが分かった。 ・小さい子やお年寄りの方にもたくさん参加してつながりを深めるために、自分たちがつながりを深める工夫をしていくことが必要だと思った。どんな工夫ができるか、おうちの人やお年寄りの方にアンケートをとってみたいなと思いました。 ・私の班では、ルールを工夫するとよいと考えました。今日の話し合いで「会話が増えつながりより深まる」と分かったので、ルールの中に会話をするようなものを入れたいなと思いました。

10 本時の見どころ

- ・これまでの活動を振り返る際につなごりに着目し、人と人をつなぐためのイベントだと再確認することで、『つながり』を意識しながら課題を解決させようと話し合う姿。
- ・【チーム力】相手や目的に沿って話し合いを進め、考えをまとめることができる。